

平成29年7月発行

全篤連だより

No. 28

発行所

(公財)全国篤志面接委員連盟

〒165-0026

東京都中野区新井3-37-2

電話 03-3389-9494

目次

平成29年度定時評議員会における 南野会長あいさつ ……………	1	役員・評議員一覧表 ……………	15
平成28年度第3回理事会(定時)の開催 ……	2	賛助会員名簿 ……………	16
平成28年度第2回評議員会(臨時)の開催 ……	2	平成29年度全国及び各管区管内研修協議会 の開催予定 ……………	17
平成29年度第1回理事会(定時)及び 第1回評議員会(定時)の開催 ……………	3	東 西 南 北 ……………	18
平成28年度常任理事会及び 平成29年度常任理事会の開催 ……………	4	富山刑務所 田中 常弘 全篤連理事(大阪刑務所) 佐野 貫順	
平成29年度の事業計画及び正味財産予算書	6	事務局から ……………	20
平成28年度の事業報告 ……………	11	雑 記 帳 ……………	20

平成29年度定時評議員会における南野会長あいさつ

梅雨入りとは言いながら、晴れ間の続く今日この頃ですが、評議員の皆様には、何かとお忙しい中、この評議員会にご出席いただき、誠にありがとうございました。

さて、本日の評議員会では、公益財団法人に移行した後、初めて評議員の改選期を迎え、任期満了に伴う退任・重任等の人事案を、また、平成28年度の事業報告及び収支決算等の重要案件を審議する予定となっております。

どうか遠慮なく疑問や不明の点について、ご意見、ご質問をいただきたいと存じます。

短い時間ではありますが、実のある会議にしていただければ幸いです。

ところで、当連盟の昨年度の一年間を振り返ってみますと、初任者研修も3回目が実施され、指導者の充実・強化や班別討議などの徹底化を図ったことにより、参加した篤志面接委員からは大変好評を得たところであり、事業として確実に軌道に乗ったものと思います。

何よりも増して矯正当局の全面的なご配慮とご支援をいただいていたことにより、全事業を安定した状態で運営することができたものと思料されます。本年度の事業もそれを引き継ぎ、円滑に実施されるものと期待をしているところであります。

さらに、本会議の議決により、公益財団法人移行後、2度目の新体制となり、いよいよ当連



盟が充実・発展していく礎が築かれるものと思われま

す。その意味におきまして、評議員の皆様には、今後とも全国篤志面接委員連盟のため格別のご協力とご支援を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

最後になりますが、本年12月5日・6日に開催決定しております「全国篤志面接委員連盟創立30周年記念大会」は、本年度における最大の行事として魅力あふれる内容とするとともに、記憶に残るような大会にしたいと決意を新たにしているところでありますので、心強いご支援のほどをお願い申し上げます。

平成28年度第3回理事会(定時)の開催

平成29年3月14日(火)午前10時30分から法務省第1会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事の件

—国の評議員4名の春の異動に伴い、後任評議員を充てることについて、原案どおり承認。

議案2 平成29年度事業計画及び収支予算案の件

—新年度事業計画案とこれに必要な予算案について原案どおり承認。

議案3 第30回全国篤志面接委員大会(記念大会)の件

—記念大会の開催に要する予算確保のための特定費用準備資金及び実行委員会における検討・準備状況の説明について、原案どおり了承。

議案4 次回理事会等開催の件

—平成29年度第1回理事会(定時)の開催を5月18日(木)とすることについて、原案どおり了承された。

議案5 その他

—特に提案等なし。

報告事項 理事長から、前回理事会以降の職務執行状況について報告があった。

平成28年度第2回評議員会(臨時)の開催

平成29年3月14日(火)午後1時から法務省第1会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事の件

—国の評議員4名の春の異動に伴い、後任評議員を充てることについて、原案どおり承認。

議案2 その他

—特に提案等なし。

- 報告事項 (1) 平成29年度事業計画及び収支予算案について
(2) 代表理事等の職務執行状況について
(3) 第30回全国篤志面接委員大会(記念大会)について

平成29年度第1回理事会(定時)及び第1回評議員会(定時)の開催

1 定時理事会

平成29年5月18日(木)午前10時30分から法務省第1会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事の件

— 本年は、当連盟の公益財団法人への移行後、初めて評議員の任期が満了する年に当たり、4名の委員が退任意向を示したため、4名の退任、これに代わる3名の新評議員の就任、残りの17名の重任について、原案どおり承認。

議案2 平成28年度事業報告及び収支決算の件

— 監事による監査結果報告も受け、原案どおり承認。

議案3 第30回全国篤志面接委員大会(記念大会)の件

— 審議の結果、記念大会スローガンについては実行委員会案として示された3案のうち「立ち直り」飛び立つ勇氣 支える手」を選定し、一般参加人員の管区別割振り案については原案どおり承認。また、特別表彰の対象者については、管区から推薦された者のうち各管区1名に絞り個別の功績等を考慮して連盟本部において最終選定することを了承。

議案4 平成29年度定時評議員会召集の件

— 平成29年6月16日(金)法務省第1会議室において召集することについて、原案どおり承認。

議案5 平成29年度公益財団法人JKAの補助金を受け入れる件

— 原案どおり承認。

議案6 その他

— 特に提案等なし。

報告事項 代表理事等の職務執行状況

2 定時評議員会

平成29年6月16日(金)午前11時30分から法務省第1会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事の件

— 理事会原案(4名の評議員の退任、3名の新評議員の就任、17名の評議員の重任)を承認。

議案2 平成28年度事業報告及び収支決算の件

—理事会原案を承認。

議案3 その他

—提案事項なし。

報告事項 代表理事等の職務執行状況

平成28年度常任理事会及び平成29年度常任理事会の開催

1 平成28年度常任理事会（臨時）

平成29年3月13日（月）午後1時から矯正会館において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事について

—国の評議員4名の春の異動に伴い、後任評議員を充てることについて、原案どおり了承。

また、6月に全員の評議員が任期満了となるが、これに伴い4名の委員から退任意向が示されていること、これに代わって3名の新評議員に就任していただく予定であることの説明について了承。

議案2 平成29年度事業計画及び収支予算案の件

—新年度事業計画案とこれに必要な予算案について原案どおり承認。

議案3 第30回全国篤志面接委員大会（記念大会）の件

—記念大会の開催に要する予算確保のための特定費用準備資金及び実行委員会における検討・準備状況の説明について、原案どおり了承。

議案4 篤志面接活動の充実・強化対策について

—篤志面接活動の現状を踏まえ、活動を一層充実・強化するために必要な対策について、各委員から管内施設の状況を含めざっくばらんな意見を求め、協議した。その結果、連盟本部において管区協議会からの最終報告を基に活性化を図る上で問題点と対策を取りまとめ、5月の委員会において配布することとなった。

議案5 その他

① 基本財産（国債）の運用について

—当連盟の基本財産としての国債の運用を委託している証券会社から提案のあった売買内容に関して審議した結果、買換えにより一時的な売却益は発生するが今後の年間収入が減少することからしばらく様子を見ることで意見が一致した。

② 管区協議会における挨拶の省略について

—管区の研修（研究）協議会において矯正局長挨拶、篤志面接委員連盟会長挨拶、矯正協会長挨拶が代読によって行われているが、実質的な研修（研究）時間をできるだけ確保するためこれらを取り止める（メッセージは記録誌に掲載する。）ことについて、連盟本部から提案があり、多くの委員から賛同の意見が提出された。

2 平成29年度常任理事会（臨時）

平成29年5月17日（水）午後1時から法務省矯正局会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事の件

— 本年は、当連盟の公益財団法人への移行後、初めて評議員の任期が満了する年に当たり、4名の委員が退任意向を示したため、4名の退任、これに代わる3名の新評議員の就任、残りの17名の重任について、原案どおり了承。

議案2 平成28年度事業報告及び収支決算の件

— 監事による監査結果報告も受け、原案どおり了承。

議案3 第30回全国篤志面接委員大会（記念大会）の件

— 審議の結果、記念大会スローガンについては実行委員会案として示された3案のうち「“立ち直り” 飛び立つ勇氣 支える手」を推薦する委員が多く、また、一般参加人員の管区別割振り案については原案どおり了承。さらに、特別表彰の対象者については、管区から推薦された者を各管区1名程度に絞り込み、個別の功績等を考慮して連盟本部において最終選定することを了承。

議案4 篤志面接活動の充実・強化対策について

— 各管区協議会からの報告を基に連盟本部において取りまとめた充実・強化対策を配布し、これを参考として今後の篤志面接活動の一層の活性化を図ることが了承された。

議案5 その他

○ 基本財産（国債）の運用について

— 当連盟の基本財産としての国債の運用を委託している証券会社から提案のあった買換え内容に関して審議した結果、買換えにより一時的な売却益が発生するとともに受取総額が増加するが、今後の年間収入が減少することからしばらく様子を見ることで意見が一致した。

平成29年度の事業計画及び正味財産予算書

平成29年度事業計画

(研修事業関係)

1 中央研修会の開催（JKA、矯正協会などの助成事業）

財団法人創立30周年の節目の年度に当たり、これまでの全国篤志面接委員大会を拡大した記念大会を開催する。基調講演・記念講演・研究発表のほか特別矯正監とのコラボレーションなど、篤志面接委員の士気高揚を図るとともに、資質、能力の啓発を行う。（12月5日（火）～6日（水）中野サンプラザで実施。）

2 矯正管区管内篤志面接委員研修協議会の開催（JKA、矯正協会などの助成事業）

各管内篤志面接委員協議会に委託して、当該管内の篤志面接委員に対し、ケース研究を主体とした集合研修を実施し、資質、能力の啓発を行う。（6月頃から11月頃にかけて各管内で実施。）

3 教養訓練研修の実施

各管内篤志面接委員協議会に委託して、当該管内の篤志面接委員に対し専門分野の知識、技能について講話形式で集合研修を実施し、資質、能力の啓発を行う。（9月頃から翌年2月頃にかけて、各管内で実施。）

4 初任者研修の実施

委嘱後5年以内の篤志面接委員に対し、面接活動に必要な知識、技能、情報等を付与するための集合研修を実施する（10月23日（月）・24日（火）に法務省で実施）。

(表彰事業関係)

1 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対し、全国篤志面接委員連盟会長から表彰を行う。

2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣、矯正管区長、管内篤志面接委員協議会会長などの感謝状等の授与に協力し、祝意を表す。

(慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬、弔意等を表す。

(広報、機関誌事業関係)

1 機関誌「全篤連だより」の発行

2 広報用第2パンフレットの作成、配布

3 研修会、協議会等の記録誌の発行（全国篤志面接委員大会、各管内篤志面接委員研修協議会等）

(事務局関係)

1 事業運営目標の達成

公益法人を取り巻く環境、情勢等を踏まえ、当法人が目指す公益目的の実現のために、特に次の事項を重点とする。

- (1) 新公益法人の運営体制の一層の定着
- (2) 各管内篤志面接委員協議会及び矯正施設との連携、協力体制の維持、強化
- (3) 財務規律、特に監査体制の強化
- (4) 篤志面接活動の広報の積極化と会員の拡充

2 重要課題の検討

- (1) 矯正施設における賛助会員制度の導入、定着
- (2) 篤志面接委員手帳（仮称）の作成
- (3) 財団法人創立30周年の節目の年度に当たる第30回全国篤志面接委員大会の開催の準備

3 予算の効率的執行

- (1) 厳しい社会、経済状況のもと、法人運営の基礎となる寄附金や補助金などの貴重な収入を確保し、事業の充実・発展のために、限られた予算を効率的に執行することに努める。
- (2) 第30回全国篤志面接委員大会（記念事業）に向け、資金の確保を行う。

(その他)

法務省主催「社会を明るくする運動」に協力する。

(資金調達及び設備投資の見込み)

これらの事業を実施するに当たり、当期間中、①資金の借入れ、②重要な設備投資の予定は、いずれもない。

平成29年度 正味財産予算書（総括表）

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(経常収益)			
①基本財産運用益	613,466	3,487,000	△ 2,873,534
基本財産利息	613,466	3,487,000	△ 2,873,534
②受取補助金	5,000,000	5,000,000	0
受取補助金	5,000,000	5,000,000	0
③受取寄付金	17,520,000	15,150,000	2,370,000
受取寄付金	17,520,000	15,150,000	2,370,000
④雑収益	2,801,000	701,000	2,100,000
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	2,800,000	700,000	2,100,000
経常収益計	25,934,466	24,338,000	1,596,466
(経常費用)			
①事業費			
給料手当	2,000,000	2,100,000	△ 100,000
臨時雇賃金	250,000	100,000	150,000
退職給付負担金	135,000	135,000	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
法定福利費	273,000	224,000	49,000
会議費	2,800,000	0	2,800,000
旅費交通費	3,350,000	6,000,000	△ 2,650,000
通信運搬費	650,000	450,000	200,000
消耗品費	250,000	250,000	0
印刷製本費	3,000,000	3,300,000	△ 300,000
第30回全国大会費	12,500,000	0	12,500,000
諸謝金	800,000	1,050,000	△ 250,000
賃借料	1,500,000	1,250,000	250,000
速記費	120,000	120,000	0
表彰費	350,000	350,000	0
広報費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
支払手数料			
雑費	2,744,000	2,270,500	473,500
事業費計	31,722,000	19,099,500	12,622,500
②管理費			
給料手当	1,035,000	900,000	135,000
退職給付費用	57,000	57,000	0
法定福利費	117,000	96,000	21,000
福利厚生費	10,000	0	10,000
会議費	500,000	250,000	250,000
旅費交通費	3,550,000	2,500,000	1,050,000
通信運搬費	280,000	280,000	0
慶弔費	60,000	60,000	0
消耗品費	50,000	15,000	35,000
印刷製本費	100,000	100,000	0
賃借料	200,000	150,000	50,000
諸謝金	230,000	250,000	△ 20,000
租税公課	5,000	5,000	0
支払手数料	200,000	100,000	100,000
雑費	392,000	475,500	△ 83,500
管理費計	6,786,000	5,238,500	1,547,500
經常費用計	38,508,000	24,338,000	14,170,000
当期經常増減額	△ 12,573,534	0	△ 12,573,534
2 經常外増減の部			
(經常外収益)			
(經常外費用)			
当期一般正味財産増減額			
一般正味財産期首残高	236,889,698	215,697,180	21,192,518
一般正味財産期末残高		215,697,180	
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高		215,697,180	

平成29年度 正味財産予算書 (内訳表)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
I 経常増減の部				
(経常収益)				
①基本財産運用益	410,761	202,705		613,466
基本財産利息	410,761	202,705		613,466
②受取補助金	5,000,000	0		5,000,000
受取補助金	5,000,000			5,000,000
③受取寄付金	11,870,000	5,650,000		17,520,000
受取寄付金	11,870,000	5,650,000		17,520,000
④雑収益	2,800,000	1,000		2,801,000
受取利息	0	1,000		1,000
雑収益	2,800,000	0		2,800,000
経常収益計	20,080,761	5,853,705		25,934,466
(経常費用)				
①事業費				
給料手当	2,000,000			2,000,000
臨時雇賃金	250,000			250,000
退職給付費用	135,000			135,000
法定福利費	273,000			273,000
会議費	2,800,000			2,800,000
旅費交通費	3,350,000			3,350,000
通信運搬費	650,000			650,000
消耗品費	250,000			250,000
印刷製本費	3,000,000			3,000,000
第30回全国大会費	12,500,000			12,500,000
諸謝金	800,000			800,000
賃借料	1,500,000			1,500,000
速記費	120,000			120,000
表彰費	350,000			350,000
広報費	1,000,000			1,000,000
支払手数料				
雑費	2,744,000			2,744,000
事業費計	31,722,000			31,722,000
②管理費				
給料手当		1,035,000		1,035,000
退職給付費用		57,000		57,000
法定福利費		117,000		117,000
福利厚生費		10,000		10,000
会議費		500,000		500,000

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取 引消去	合 計
旅費交通費		3,550,000		3,550,000
通信運搬費		280,000		280,000
慶弔費		60,000		60,000
消耗品費		50,000		50,000
印刷製本費		100,000		100,000
賃借料		200,000		200,000
諸謝金		230,000		230,000
租税公課		5,000		5,000
支払手数料		200,000		200,000
雑費		392,000		392,000
管理費計		6,786,000		6,786,000
経常費用計	31,722,000	6,786,000		38,508,000
当期経常増減額	△ 11,641,239	△932,295		△ 12,573,534
2 経常外増減の部				
(経常外収益)				
(経常外費用)				
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高	236,889,698			236,889,698
一般正味財産期末残高				
II 指定正味財産増減の部				
III 正味財産期末残高				

平成28年度の事業報告

平成28年度 事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(研修事業関係)

1 全国篤志面接委員大会(中央研修会)を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	中央研修会 平成28年10月18日(火) 法務省大会議室 参加者166名 (委員131名, 関係者35名)	・基調講演「矯正行政の現状と課題について」 矯正協会会長 藤本 哲也 氏 ・個別発表者 4名 ・パネルディスカッション「篤志面接活動のよろこびを求めて」パネラー6名

2 矯正管区管内篤志面接委員研修協議会を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札幌	平成28年7月21日(木)・22日(金) ロワーヅルホテル函館 参加人員111名 (委員66名, 関係者45名)	・基調講演「家族環境の変化にともなう犯罪行為の現状と課題」 北海道教育大学函館校准教授 藤井 廣美 氏 ・研究発表者4名
仙台	平成28年9月9日(金) 青森国際ホテル 参加人員114名 (委員59名, 関係者55名)	・基調講演「犯罪予防と更生保護の環境づくりに必要なものは～困難を抱える子供たちとの交流経験から～」 弘前大学教育学部教授 宮崎 秀一 氏 ・研究発表者4名
東京	平成28年11月1日(月) さいたま新都心合同庁舎2号館 5階共用大会議室 参加人員203名 (委員121名, 関係者82名)	・基調講演「児童虐待による影響と回復へのアプローチ」 福井大学子どもこころの発達研究センター 発達支援研究部門教授 友田 明美 氏 ・グループ討議: 5分野 12グループに分け全員参加
名古屋	平成28年11月2日(木) レセプションハウス名古屋通信会館 参加人員128名 (委員85名, 関係者43名)	・基調講演「あなたがいるから生きていける」 ラジオパーソナリティ・書家 矢野 きよ実 氏 ・研究発表4名

地 区	日時・場所・参加人員	研 修 内 容
大 阪	平成28年6月21日(火) ホテルキャッスルプラザ 参加人員186名 (委員110名, 関係者76名)	・基調講演「和敬喜心を心に」 株式会社 信濃路 代表取締役社長 西平 都紀子 氏 ・研究発表者4名
広 島	平成28年10月27日(木) 岩国国際観光ホテル 参加者129名 (委員70名, 関係者59名)	・基調講演「未来への挑戦～両全会の社会復帰支援活動」 更生保護法人両全会理事長 小畑 輝海 氏 ・研究発表者4名
高 松	平成28年11月18日(金) サンピアセリーズ 参加者60名 (委員27名, 関係者33名)	・基調講演「私が作った単行本の主人公たいの『忘れられない言葉』」 南国生活技術研究所代表 黒笹 慈幾 氏 ・研究発表者4名
福 岡	平成28年11月15日(火)・ 16日(水) ホテルニューウェルシティ 参加者171名 (委員94名, 関係者77名)	・基調講演「元テロリストから教誨師へ～愛は憎しみに勝つ～」 宣教師 ヒューブラウン 氏 ・分科会：刑事施設3分野・少年施設3分野 9グループ全員参加

3 初任者研修を実施した。

地 区	日時・場所・参加人員	研 修 内 容
中 央	初任者研修会(第3回) 平成28年12月6日(火)・7日 (水) 法務省大会議室 参加者65名 (委員58名, 関係者7名)	一日目 ・講話Ⅰ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～刑事施設法を中心に～ 矯正局成人矯正課企画官 岸 規子 氏 ・講話Ⅱ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～少年院法を中心に～ 矯正局少年矯正課企画官 岩浪 健 氏 ・講話Ⅲ「篤志面接活動の歴史, 制度と現在の課題」 全国篤志面接委員連盟理事長 佐藤 良彦 ・講話Ⅳ「面接指導技術」 駿河台大学心理学部教授 川邊 讓 氏 ・班別討議Ⅰ 7グループ 二日目 ・講話Ⅴ「篤志面接活動の施設実務」 府中刑務所教育部首席矯正処遇官(教育担当) 尾崎 東一 氏 多摩少年院首席専門官(支援担当) 北村 大 氏 ・班別討議Ⅱ 7グループ

4 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練研修を実施した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
札 幌	平成28年11月2日(水) 北海道グリーンランドホテルプラザ 参加者41名 (委員35名, 関係者6名)	「触法者の再犯防止に向けて」 社会福祉法人北海道社会福祉事業団 理事長 吉田 洋一 氏
仙 台	平成28年11月18日(金) いわて県民情報交流センター 参加者37名 (委員35名, 関係者2名)	「聞くこと話すこと」 IBCアナウンス学院長 河辺 邦博 氏
東 京	平成29年2月2日(木) さいたま新都心合同庁舎2号館 5階共用大会議室 参加者102名 (委員93名, 関係者9名)	「犯罪被害者支援について～犯罪被害者の心情とおかれている立場について」 公益社団法人埼玉犯罪被害者援助センター 相談援助担当責任者 坂本 貴子 氏
名古屋	平成28年9月2日(金) 名古屋合同庁舎第3号館7階会議室 参加者74名 (委員67名, 関係者7名)	「神経発達障害群の課題と特徴」 特別支援教育ネット代表 宇部フロンティア大学臨床教授 小栗 正孝 氏
大 阪	平成29年2月3日(金) 大阪合同庁舎第4号館4階講堂 参加者98名 (委員94名, 関係者4名)	「刑事施設の現状と再犯防止」 大阪矯正管区第二部長 大橋 直三 氏
広 島	平成29年2月2日(木) 広島矯正管区ゼミナール室 参加者62名 (委員59名, 関係者3名)	「(1)話を“聞く” (2)効果的なカウンセリング, 面接指導について」 (1)広島国際大学医療福祉学部教授・ 貴船原少女苑篤志面接委員 岡本 晴美 氏 (2)グループ討議
高 松	平成29年2月8日(水) 高松法務合同庁舎6階 四国地方更生保護委員会会議室 参加者26名 (委員23名, 関係者3名)	「平山郁夫の画業について」 広島矯正管区管内篤志面接委員協議会会長 平山郁夫美術館館長 平山 助成 氏

地 区	日時・場所・参加人員	研 修 内 容
福 岡	平成29年2月9日(水) 矯正研修所福岡支所第1教室 参加者50名 (委員33名, 関係者17名)	「暴力団員の離脱・就労支援対策」 福岡県警察本部暴力団対策部 社会復帰支援課 馬場 貴久 氏 「福岡刑務所における暴力団離脱に向けた取り組み」 福岡刑務所統括矯正処遇官 宮本 博治 氏

(表彰事業関係)

- 1 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣, 矯正管区長, 管区管内篤志面接委員協議会会長などの感謝状の授与に際して祝意を表した。

(慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して, 表敬・慰謝を行った。

(広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し, 内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を平成28年7月, 同29年2月に発行した。
- 3 研究会, 協議会の記録誌の出版
全国篤志面接委員大会, 各管区管内篤志面接委員協議会(講演会)及び第3回初任者研修会の実施に際し記録誌を発行した。

(事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け, その基礎となる次の点に留意した。
 - (1) 引き続き, 税理士と契約し財務の指導を受けるとともに, 毎月の予算執行状況を監事に報告するほか, 監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど, 財務状況の把握を確実にした。
 - (2) ホームページを適宜更新し, 連盟からの広報活動の積極化に努めた。
- 2 矯正施設賛助会員制度が発足し, 多数の方の申し込みがあった。
- 3 創立30周年記念大会に向け, 準備委員会から組織を改編して実行委員会を設置し, 具体的な内容の検討を開始した。
- 4 予算執行について
 - (1) 創立30周年記念大会を実施するに当たり, 特定費用準備資金を設定して, 予算の確保を図った。
 - (2) 法人会計については, 予算内に収めるため, 経費を節減した。

(その他の事業関係)

- 1 法務省主催の「社会を明るくする運動」に協力をした。
- 2 東京都共同募金会主催の, 「NHK歳末たすけあい」に協力した。

賛助会員名簿

平成29年 月 日現在

施設賛助会員（敬称略）

竹内恵美子（札幌刑務所）	坂田 資宏（月形刑務所）	
青森県保護司会連合会（青森刑務所）		阿部 誠（宮城刑務所）
三浦 慶子（宮城刑務所）	㈱ 正 大（宮城刑務所）	木村 正明（東北少年院）
徳力 芳子（東北少年院）	八幡 則子（東北少年院）	雨宮ゆかり（青葉女子学園）
池田 玄德（栃木刑務所）	倉松 俊弘（栃木刑務所）	黒川 弘照（栃木刑務所）
小林 一成（栃木刑務所）	日高正一郎（栃木刑務所）	宮古 次郎（栃木刑務所）
横山 幸子（栃木刑務所）	五十嵐紀典（新潟刑務所）	木曾 隆（新潟刑務所）
川上 克義（新潟刑務所）	関口 潔（新潟刑務所）	㈱千代田設備（新潟刑務所）
井柳 明子（静岡刑務所）	大川 進（静岡刑務所）	杉山 實（静岡刑務所）
棟高 敏郎（静岡刑務所）	山中 廣司（立川拘置所）	
さくら市更生保護女性会（喜連川少年院）	さくら市保護司会（喜連川少年院）	
高根沢町更生保護女性会（喜連川少年院）	矢板市更生保護女性会（喜連川少年院）	
鬼頭 英彬（多摩少年院）	森田 祥一（多摩少年院）	渡辺 文夫（多摩少年院）
門脇 高次（関東医療少年院）	杉本ケイ子（関東医療少年院）	山崎 誉男（関東医療少年院）
廣瀬 裕子（富山刑務所）	西田 純（金沢刑務所）	池田 弘孝（名古屋刑務所）
伊藤 安信（名古屋刑務所）	小山 祐（名古屋刑務所）	佐藤 之信（名古屋刑務所）
鈴木 昭（名古屋刑務所）	鳥居 鏝一（名古屋刑務所）	中村 富子（愛知少年院）
山崎 徹也（加古川刑務所）	山本佐登史（加古川刑務所）	五島 一代（大阪拘置所）
佐々木照眞（奈良少年院）	金光 英子（岡山刑務所）	本郷 亮（岡山刑務所）
渡邊 満幸（山口刑務所）	㈱西京銀行南岩国支店（岩国刑務所）	
原 るみ（徳島刑務所）	山田 妙子（丸亀少女の家）	伊出 琴枝（松山学園）
松本美穂子（松山学園）	三好 康子（松山学園）	伊藤 金江（北九州医療刑務所）
伊藤 順子（北九州医療刑務所）	大江 正弘（北九州医療刑務所）	辰巳 貞子（北九州医療刑務所）
(有)諫早観光ホテル（長崎刑務所）	(有)魚荘 ホテルグランドパレス諫早（長崎刑務所）	
観光ホテル 八千代（長崎刑務所）	㈱昭和堂（長崎刑務所）	
㈱ホンダ長崎（長崎刑務所）	光石 和磨（福岡拘置所）	光石 京子（福岡拘置所）
光石 健之（福岡拘置所）	光石 玲子（福岡拘置所）	吉浦 正子（福岡拘置所）
和田奈保子（福岡拘置所）	濱田 吉信（福岡少年院）	池田 正隆（佐世保学園）
古藤 恵子（佐世保学園）	永尾 俊子（佐世保学園）	水町 宗典（佐世保学園）

本部賛助会員（敬称略）

會田 正和（東京都）	朝倉 俊次（京都府）	石川 淑子（北海道）
大川 哲次（大阪府）	大野 文雄（茨城県）	岡戸 義光（東京都）
岡本 達也（富山県）	小畑 輝海（東京都）	海頭 幸子（愛媛県）
亀井 史丞（広島県）	鴨下 守孝（埼玉県）	神取 恵淨（愛知県）
神部 順一（埼玉県）	北仲 省三（佐賀県）	栗田 啓二（神奈川県）
鍬間 猛（東京都）	古賀常次郎（佐賀県）	近藤 哲城（埼玉県）
坂井 一郎（東京都）	佐藤 良彦（東京都）	佐野 耕三（神奈川県）

澤田 健一 (東京都)	清水 充江 (愛媛県)	下地 秀明 (東京都)
菅原 祥子 (愛媛県)	鈴木 壽子 (東京都)	高橋 博 (神奈川県)
竹内 正孝 (宮城県)	田中 勝彦 (愛媛県)	田中 常弘 (富山県)
友澤恵美子 (愛媛県)	中川 文隆 (東京都)	中間 敬夫 (神奈川県)
西田 博 (千葉県)	平本 喜祿 (東京都)	廣瀬 玲子 (富山県)
福岡恵美子 (愛媛県)	福島 照男 (大阪府)	福田 紀夫 (東京都)
藤井 亮俊 (兵庫県)	古川 高志 (埼玉県)	保坂東志男 (東京都)
本間 達三 (東京都)	前田 直子 (愛媛県)	前田 宏 (東京都)
松田信一郎 (兵庫県)	松田 昇 (東京都)	松本久仁子 (北海道)
宮内 統代 (愛媛県)	三宅 昭夫 (大阪府)	宮西 豊 (北海道)
村上トモ子 (愛媛県)	室井 誠一 (東京都)	横田 尤孝 (東京都)
吉澤 崇夫 (栃木県)		
(株) 葵 式典 (東京都)	(社) 東京珠算教育連盟 (東京都)	

支援団体 (敬称略)

公益財団法人矯正協会	公益財団法人 JKA	社会福祉法人黎明会
社会福祉法人東京都共同募金会	有限会社矯正サービス	有限会社矯正弘済会

平成 29 年度全国及び各管区管内研修協議会の開催予定

地区	日 程	場 所
中 央	12月5日(火)・6日(水)	中野サンプラザ (東京都中野区)
初任者研修	10月23日(月)・24日(火)	法務省地下大会議室 (東京都千代田区)
札 幌	7月20日(木)・21日(金)	ホテル日航ノースランド帯広 (北海道帯広市)
仙 台	7月7日(金)	仙台サンプラザホール (宮城県仙台市)
東 京	11月17日(金)	さいたま新都心合同庁舎 2号館 5階共用会議室 (埼玉県さいたま市)
名古屋	11月9日(木)	オークスカナルパークホテル富山 (富山県富山市)
大 阪	6月15日(木)	ホテル・アゴーラリージェンシー堺 (大阪府堺市)
広 島	10月26日(木)	浜田ワシントンホテル (島根県浜田市)
高 松	10月17日(火)	国際ホテル松山 (愛媛県松山市)
福 岡	11月15日(水)・16日(木)	ホテルグランドパレス諫早 (長崎県諫早市)

その他の研修等 (参考)

- 教養訓練研修(各管内協議会で実施) 平成29年10月から平成30年2月
- 連盟第2回常任理事会 平成29年10月24 (火) 法務省地下小会議室
- 連盟第2回理事会 平成29年12月6日 (水)
中野サンプラザ6階会議室(バードルーム)
- 連盟第3回理事会・評議員会(臨時) 平成30年3月20日 (火) 法務省地下大会議室

篤志面接活動で思うこと

富山刑務所篤志面接委員 田 中 常 弘

私は、富山刑務所の篤志面接委員として刑執行開始時の指導で、月2回各10名前後の人に講話をし、また、願い出があれば個別面接を行っています。

再犯する多くの人が、「やっていけないことは分かっているが、また、やってしまった」「その原因は自分にある」「自分の弱い心に負けてしまう自分が情けない」などと愚痴を繰り返します。悪いことと知りながら、犯罪を繰り返してしまうものの、原因は自分の弱い心にあると分かっているのです。高齢者ともなると自分の人生を諦めてしまって「生きる」気力を失っている者も見かけます。このような人たちに再犯防止に向けてやる気や生きる元気を出させ、更生への奮起を促すようにと努めていますが、思うように行かず悩むことも多々あります。

ところで、篤志面接活動に関して私が思うことを幾つか書いてみます。

1つ、我々篤志面接委員は、矯正施設が実施している改善更生と社会復帰の取組みをそれぞれの立場から手助けしています。したがって、いろいろ工夫して行う活動内容が対象者にとって改善更生等への動機づけにつながればこれほど素晴らしく、遣り甲斐のあるものはないと思います。

例えば、講話では、自分の生き方を考え、己を深く見つめるきっかけになればと思いますし、個別面接では、問題の解消とともに社会で間違いを犯さずに生活を送るヒントを与えることができれば幸いです。また、俳句、音楽、絵画など趣味の指導を通して彼らが清新な心を取り戻して正しく生きようとの意欲を喚起できれば嬉しい限りですし、教科、英会話、パソコンなど教養の指導を通しては生きる自信につながればよいと思います。さらに、座禅、写経など訓練を実施することで、精神の安定を図るとともに自分の至らなさに気づき、自分を変えようという強い気持ちが出てくれば最良なのですが。

2つ、篤志面接活動は、矯正施設が行っている処遇の中で、必要と思われることを篤志面接委員に依頼して実施されています。意欲的に考えると、被収容者から願い出があるものの外にも、処遇困難など問題を抱える人の面接や各種の改善プログラムへの参加などについても遠慮することなく依頼してもらえると有り難いと思ったりします。

3つ、施設側と篤志面接委員との情報・意見交換の場を増やすことで、お互いに情報共有を図ることができ、そうすれば各委員の活動意欲も更に高まることが期待できるのではないのでしょうか。

学科指導(数学)について

全篤連理事(大阪刑務所) 佐野 貫 順

私が大阪刑務所の篤志面接委員を拝命したのは、平成10年でした。当初は、毎週1回1時間の指導を行い時間的に余裕があったので、中学の教科書に従ったテキストを作り授業を行っていましたが、平成24年ころより作業が忙しくなったとのことで月2回、平成27年ころより月1回となり、授業の内容も大幅に変更する必要が出てきました。

数学の勉強とは、受講生にとってどんな意味があるのか。必要なことなのか。学校の授業は中学の場合は、高校の授業につながり、大学の受験につながっていくので、好き嫌いを言っていられない事情がありますが、中学初期の数学だけ勉強して後に繋がらない勉強にはどんな意味があるのでしょうか。

かつて、日本人は、「学校数学」ができなくても「数学を楽しむ」人々がいたのに、今は絶滅しかけています。日本人には江戸時代数学(和算)を楽しむ伝統がありました。ソロバンと合わせ、世界に冠たる〔計算得意民族〕でした。日ごろから数学を楽しんでいたため、身体知として数学をとらえ、「数覚」を磨いていたといわれています。数学も、音楽や絵画などのように、見て、聞いて楽しむものでなければなりません。

今の世界は、数学によって支えられているといっても過言ではありません。数学と縁を切って生活するなんてとても無理です。あらゆるところに数学が使われています。

なんと言ってもコンピューターなどに利用されているものは、すべて数学だと言えます。

しかし、数学を知らなくても、使い方を知っていればそれで恩恵にあずかれます。

ということから考えると、篤志面接活動では「学校数学」はあまり適切でないと思います。

“あてがわれた公式に当てはめ、電卓で計算することになれた現代の秀才諸君がぜひ塵劫記(吉田光由の手になる数学書で寛永4年に出版)のシャワーをあびて、暗記をこえて理解することの面白さを味わってほしい。すぐれた「頭の体操」の本それが塵劫記である。”(地球物理学者 竹内均)。いまから篤面の数学は(直観)、(頭の体操)、(大切な言語の理解)に重点を置き、数学の理解者を増やし、一緒に楽しんで行きたいと思う。

事務局から

○平成29年度春の叙勲、褒章について

叙勲（瑞宝双光章）	桑原美代子（榛名女子学園）	西山 紀子（有明高原寮）
	野方世輝雄（岡山刑務所）	
褒章（藍綬褒章）	青木 功（長野刑務所）	赤田 泰宏（京都刑務所）
	五十嵐 慎（山形刑務所）	遠藤賢太郎（山形刑務所）
	大橋 好子（和泉学園）	小畑 庸子（加古川刑務所）
	古藤 恵子（佐世保学園）	椿澤 舜寛（旭川刑務所）
	鳥越 輝幸（長崎刑務所）	山口八千代（愛知少年院）

○物故者

平成28年12月以降にお亡くなりになった篤志面接委員の方は、次のとおりです。
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

28年12月	渡邊 賢雄（岡崎医療刑務所）	
29年 1月	守田 顕三（金沢刑務所）	2月 清水 力（宮川医療少年院）
	3月 加瀬 堯正（八街少年院）	寺林 惇（大阪拘置所）
	4月 村上 正之（金沢刑務所）	駒井 誠子（加古川刑務所）
	5月 内藤 玄雄（松本少年刑務所）	
	6月 林 泰道（長崎刑務所）	中村 啓識（新潟少年学院）

雑記帳

歌舞伎役者の市川海老蔵さんの妻でフリーアナウンサーの小林麻央さん（享年34歳）が6月22日に乳がんのため亡くなったことがマスコミで大きく取り上げられました。彼女は、進行性の乳がんに関病生活を送っていましたが、自身のブログでこのことを明らかにしながら、病気に負けずに常に前向きに生きようとする姿を綴っていました。普通の人は、こんな病気に罹れば自分の不幸を嘆き、悲しみ、場合によっては不満を周囲に当たり散らしたりするのでしょうか、彼女は、病気のために家族の世話をできないことを済まなく思い、これからの家族のことを心配していました。最後まで自分の病気のことよりも、家族やブログの読者の幸福を祈っていました。

報道を聞きながら、最近読んだ本をふと思い出しました。「君の臍臓をたべたい」（住野よる著 双葉文庫）という本ですが、その題名からは猟奇的な内容を想像しがちですが、しかしこの本は、臍臓の病気に罹患し、余命1年もない女子高校生と同級生の男子高校生との交際、会話などを描いた青春小説です。明るい性格で友達の多い女子と、成績はいいけど地味で目立たない男子との交際は、女子のリードで次第に発展していくのですが、夏のある日に唐突に終わりを迎えます。読ん

でいるとそれはないだろうと思ってしまうストーリー展開なのですが、生きている彼女にある少年が「君にとって生きるっていうのはどういうこと？」と聞く場面があります。彼女は、しばらく考えてから「きつと誰かと心を通わせること」と答えます。「誰かを認める、誰かを好きになる、誰かを嫌いになる、…誰かと手をつなぐ、…それが生きる。」と、一人じゃなく誰かと関係を作っているいろいろと心を通わせることが生きることだという。それまで人間関係を避けてきた少年は、彼女との交際を続けることによって新しい自分を形成していきます。間もなく死ぬことが分かっている、最後の瞬間まで明るく前向きに生きようとする少女の姿や本の題名の意味するところに、不覚にも涙してしまいました。

私たちの面接活動において対象としている被收容者の中には、他者に対する強い不信感を抱いていたり、自分の殻に閉じこもっていたりする者もいます。お互いの信頼関係を形成することが困難な者もいます。しかし、そんな対象者に対しても面接者として心を開き、相手を認めることが大切であることは言うまでもありません。そして、被收容者と心を通わせることができれば、面接はほとんど成功したとってよいのかもしれない。